

## 巻機山山行記録

目的地	巻機山ヌクビ沢コース（下山は井戸尾根）	期 日	平成 16 年 9 月 4 日（土）
山人	笠原正雄・澄子	特 記	山五の前を通り懐かしく思う。今回は寄らず。

地名	(着)～(発)	天候	記 事
与板	午前 4:30 発		蓬峠の予定だったが、朝 TV の黒部峡谷の沢登りを見て急きょ変更。
桜坂 P	6:30～6:55	曇	満車に近い。殆どが県外ナンバー。
避難路分岐	7:21		田んぼの脇を通り、林の中を歩きここで左に降りる。5 分後沢を左に徒渉。
吹上ノ滝	7:40	晴	左の巻き道へ。振り向けば大源太山が見える。単独男が追越して行く。
アイガメの滝	7:44	晴	滝を右に見ながら滝の岩を歩く。
滝の上部	8:07	晴	滝を通過し終わり、樹林の中を急登して滝の上部に出る。
休憩	8:20～8:30	晴	再び沢に戻り休憩。30 歳代の夫婦が追越して行く。
ヌクビ沢出合	8:43	晴	左に割引沢を見送り、天狗岩を見ながら右のヌクビ沢に入る。
避難路合流点	8:53	晴	沢の右の巻き道に上がり、少し前に上で手を振っていた避難路 4 人組と出合う。この後彼らと同じようなペースで進むが、結局は先に行く。
ナメ滝	9:00	晴	大きな一枚岩を鎖とロープで気分良く登る。
三崧沢出合	10:00	晴	左に行者の滝。
休憩	10:05～10:20	曇	天狗岩直下を過ぎ、徒渉点で休む。この後草付きの急登で長袖を脱ぐ。
源頭部手前	11:20	曇	沢の出合。左の流れの少ない方へ。流れが隠れ始め支流の水を汲む。この後右方へ柱状節理の岩と草付き交じりの最急登を四つん這いで掻き上がる。このあたりで、高齢男女 4 人を追越すが、あとになってから、この先の急登は大丈夫だったかと気に懸かった。
稜線 T 字分岐	11:42	曇	急登から開放され、荷物を置いて左へ。
割引岳山頂	11:52～12:00	曇	遠望は利かぬが、天狗尾根・裏巻機コースが良く見えた。父娘 2 人食事中。T 字分岐に戻ると避難路経由の 4 人組が上がって来た。
御機屋	12:20～1:05	曇～霧	草紅葉のはしりであった。ベンチほぼ満席。先に追越して行った 30 歳代夫婦が食事中、会釈し一声交わす。昼食を摂る。ガスが上がってきて展望無くなり、ポツリポツリあたって来た。ここで下山とする。
桜坂 P	4:00	霧～雨	井戸尾根を下る。小雨状態。コースタイム記録省略。妻左ヒザの不調、サポーターをわたす。7 合目付近の植生復元が進んでいた。また 6 合目付近も復元作業が施されていた。 6 合目を過ぎた 2:30 から本降りとなって雨具を着る。更に降り続き道が沢となって流れて行く。靴の中まで濡れてしまった。
与板着	7:35	曇	寄り道して、五十沢温泉(500 円)で入浴、小千谷ベイシアで買い物。

井戸尾根は 2 回登っている。山頂付近の眺めが好きな山だ。前々から折り返せばこの沢に入りたと思っていた。下りが雨となったのは惜まれるが、登りは天候に恵まれて、快適であった。沢に降りて進む分には気分が良いが、高巻く斜面は歩きづらく、ヒヤヒヤする所が数カ所ある。沢の中で出遭った人数は上記の合計 11 人のみ。

時間はかかったが、高度計を一度も見ずに登った程に変化に富んだ山行であった。最後の急登は今まで行った山の中では最高級である。妻の頑張りに桜マークをやりたい。

翌日の足の疲れ具合は予想を超えた。休日でのんびり身体を休めることにした。

